



週間情報



No.0313(5月4日休刊)

発行日 令和3年4月27日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 熊本県消防職員意見発表会をオンラインで配信

熊本県消防長会

熊本県消防長会では、令和3年4月9日（金）、天草市において、県内12消防本部の代表13名による熊本県消防職員意見発表会を開催しました。

本発表会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の観点から、無観客での開催となりました。そこで、初の試みとして、「Microsoft teams」というコミュニケーションツールを活用し、県内の消防職員に対してオンライン配信も同時に行いました。このことから、各消防本部でパソコン等から観覧ができたため、無観客であるものの非常に多くの方にご覧いただきました。

これからも時代に即した新しい取り組みを行ってまいります。



【オンライン配信の様子】



【消防職員意見発表会後の記念撮影】

消 防 本 部 の 動 き

行 事

◆ 「災害時における石油類燃料の供給に関する協定」を締結

宮津与謝消防組合消防本部（京都）

宮津与謝消防組合消防本部では、令和3年4月19日（月）、京都府石油商業組合宮津支部と「災害時における石油類燃料の供給に関する協定」を締結しました。

この協定は、管内で地震、風水害等による災害が発生した場合に、当消防本部の緊急車両のほか、京都府内からの応援隊や全国から駆けつける緊急消防援助隊に対し、安定した燃料供給体制を確保して消防活動を円滑に行うことを目的とするものです。

今後も、大規模災害に備えて関係機関との連携強化を図り、災害対応力の向上に努めてまいります。



【締結式の様子】

訓練・演習

◆ 水難救助訓練を実施

羽島郡広域連合消防本部（岐阜）

羽島郡広域連合消防本部では、令和3年4月14日（水）から16日（金）までの3日間、水の事故が増える夏のレジャーシーズンを前に、管内の木曽川水域において水難救助訓練を実施しました。

本訓練は、救助活動時における安全管理方法の確認、迅速な初動体制の確立、各隊の連携強化を目的として実施しました。

訓練では、「船外機付き救命ボートの組立」、「救命索発射銃の取扱い訓練」を実施した後、「水面に男性が浮いており救助を求めている」との想定により、各隊が協力して救命ボート上へ引き上げる訓練を行いました。また、昨年10月から運用を開始した、ドローンによる情報収集、捜索訓練も行い、活動の幅が広がりました。

今後も、災害現場で安全・確実・迅速に活動が行えるよう訓練を継続してまいります。



【訓練の様子（ドローンにより撮影）】

◆ 「消防団指揮者・機関員訓練」を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁武蔵野消防署では、令和3年4月18日（日）、武蔵野市消防団に対して「消防団指揮者・機関員訓練」を実施しました。

これは、新年度の体制となり、消防署と消防団との活動に関する理解を深めることを目的として、座学訓練を実施したものです。

訓練内容は、消防活動時における危険予知訓練を実施するとともに、市内で発生した過去の災害事例をもとに振り返り訓練を実施しました。

本訓練を実施したことで、安全管理を意識し、団結して災害に立ち向かう認識を持つことができ、とても有意義な訓練となりました。



【訓練の様子】

その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

銚子市消防本部（千葉）

銚子市消防本部では、令和3年4月10日（土）、消防協力者6名に対して消防長から感謝状を贈呈しました。贈呈は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、受領者の自宅へ訪問して行いました。

本事案は、令和3年2月6日（土）、市内の店舗併用住宅の火災において、着衣着火の状態で脱出した負傷者を、付近で目撃した夫婦と近隣住民4名が協力して消火・救護活動を実施したものです。この負傷者は、救急隊からドクターヘリへと引き継がれ、一命を取りとめました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

西はりま消防本部（兵庫）

西はりま消防本部では、令和3年4月15日（木）、消防協力者に対し、満田消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和3年3月21日（日）、管内で発生した住宅火災において、出火建物の2階に残された要救助者を、帰宅途中の男性が梯子を使用して救出したものです。

延焼拡大や逃げ遅れの可能性もある中、協力者の迅速かつ的確な判断と勇敢な行動により、住民の命が救われました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 人命救助に対する功労者に感謝状を贈呈

取手市消防本部（茨城）

取手市消防本部では、令和3年4月14日（水）、人命救助に対する功労者5名の方に市長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和3年1月23日（土）、市内のトレーニングジムで卒倒した男性を、従業員2名と施設利用者3名が発見し、協力して119番通報、胸骨圧迫、AEDによる除細動を行いました。

男性は、救急隊の到着前に心拍が再開し、搬送先の病院で入院加療後、後遺症もなく社会復帰されました。

5名の方の適切な救命処置により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影
※2名の方は欠席】

消防庁通知等

◆ ドローン運用アドバイザー制度の創設について（通知）

（消防消第176号、令和3年4月14日）

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より、消防行政の推進に御尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

消防庁では、消防防災分野における無人航空機（以下「ドローン」という。）の活用を図るべく、様々な施策に取り組んでおり、消防・救急課においては、消防本部等におけるドローンの有効活用を推進するため、多くの消防本部の御協力をいただきながら、令和元年度からドローン運用アドバイザーの育成を進めてきたところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/syoukyuu_keibou.pdf）に掲載されています。

【担当】

消防庁消防・救急課警防係
池田補佐、平田係長、亀澤事務官
TEL：03-5253-7522（直通）
E-mail：keibou@ml.soumu.go.jp

◆ ゴールデンウィーク等の連休時の医療提供体制の確保への対応について（依頼）

（事務連絡、令和3年4月15日）

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

消防機関における新型コロナウイルス感染症への対応については、これまで「新型コロナウイルス感染症に係る消防機関における対応について」（令和2年2月4日付け消防消第26号消防庁消防・救急課長、消防救第32号消防庁救急企画室長通知、令和2年5月13日一部改正）等により、的確な対応をお願いしているところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/b.pdf>）に掲載されています。

【問合せ先】

連絡先 消防庁救急企画室
担 当 岡澤補佐、石田係長、吉岡事務官
TEL：03-5253-7529
FAX：03-5253-7532
E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

◆ 東京都新宿区における二酸化炭素消火設備の放出事故を受けた注意喚起について

(消防予第187号、令和3年4月15日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

本日、東京都新宿区において、二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備（以下「二酸化炭素消火設備」という。）から何らかの理由で二酸化炭素が放出され、死者4名、負傷者2名を出す事故が発生しました。これまで、消防庁においては、昨年12月の愛知県名古屋市や本年1月の東京都港区における二酸化炭素消火設備の放出事故の発生を踏まえ、「二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について」（令和2年12月23日付け消防予第410号。以下「410号通知」という。別添1参照）及び「東京都港区における二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について」（令和3年1月28日付け消防予第22号。以下「22号通知」という。別添2参照）により安全対策の徹底をお願いしているところです。（別添1、2省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20210415_yobou_1.pdf) に掲載されています。

◆ 地下駐車場等に使用される二酸化炭素消火設備の点検作業等における労働災害の防止について（情報提供）

(事務連絡、令和3年4月19日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和3年4月15日、東京都新宿区において発生した二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備（以下「二酸化炭素消火設備」という。）の放出事故を受け、「東京都新宿区における二酸化炭素消火設備の放出事故を受けた注意喚起について」（令和3年4月15日付け消防予第187号）により、二酸化炭素消火設備が設置される防火対象物の建物関係者に対し、注意喚起を行うよう依頼しているところです。今般、厚生労働省労働基準局より、「地下駐車場等に使用される二酸化炭素消火設備の点検作業等における労働災害の防止について」（令和3年4月16日付け基安労発0416第1号。別添参照）が発出されましたので、注意喚起を行う際の参考としてください。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/68fcbc03aa543f249ffea8a6a1e1b15ee0b1415b.pdf>) に掲載されています。

* お知らせ

住所等の変更がありましたので、ご連絡いたします。

○ 63404 西宮市消防局（兵庫）

変更日 : 令和3年4月26日

新郵便番号 : 〒662-0918

新住所 : 西宮市六湛寺町8番28号 西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）

変更理由 : 新庁舎移転のため

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4／25発刊）33ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 菅原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

- ・文章は、Wordで150文字程度（160文字以内）で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 菅原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）に近い時期のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 浅倉

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。